

令和3年度 労働安全・健康管理講習会

令和3年8月6日（金）に新潟グランドホテルにおいて「令和3年度 労働安全・健康管理講習会」を開催し、53名の方々が参加されました。

山岸会長から「新型コロナウイルス感染症はワクチン接種が始まったものの変異デルタ株によって発症者が急増し第5波という誠に憂慮すべき事態となっている。本日の講習会を契機に、滑落・転落事故や水難事故などの労働災害の未然防止と新型コロナ対策を始めとする健康管理に一層努めて『安全で健康で働ける職場づくり』を各職場一体となって取り組んでいただきたい。」との挨拶があり、次の内容で講義を受けました。

第一部

- 演題 「リスクアセスメントの運用と墜落制止用器具について」
- 講師 合同会社LSMサポート 代表社員 鈴木 誠 様
- 内容 人に頼る安全管理では事故や災害を防ぐことは困難。安全管理の基本は、潜在する危険（リスク）を的確に捉え事前に手を打つこと。リスクアセスメントの5つのステップ（危険性・有害性の特定、リスクの低減措置内容の検討、実施内容の記録など）の重要性を解説した。

第二部

- 演題 「ウィズ・コロナ時代での感染症予防と健康づくり」
- 講師 （一社）新潟県労働衛生医学協会 課長補佐 源氏 富貴子 様
- 内容 新型コロナ感染対策として、日常生活における3つの基本「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」の励行。テレワークやローテーション勤務、オンライン会議などの新しいスタイルの働き方。食事・休養による免疫力アップなどを分かりやすく解説した。



【労働安全】



【健康管理】